

海軍公報 (部内限) 第四百二百二十四號

昭和十七年六月二十四日(水)
海軍大臣官房

○令達

官房第三八六二號
支那事變ニ於テ捕獲セル船艇一隻ヲ雜役船ニ編入シ其ノ船種、船名、所屬等ヲ左ノ通定ム
昭和十七年六月二十三日
海軍大臣

船種	船名	所屬	定數	記事
曳船兼交通船 (四百三十艘)	海清	佐世保海軍港務部 (第一海軍工務部)	臨時 附屬	支那事變戰 利船海清

官房第三八六三號
横須賀海軍工廠保管中ノ十五米内火艇一隻ヲ雜役船ニ編入シ其ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム
昭和十七年六月二十三日
海軍大臣

公稱番號	船種	所屬	定數	記事
第一四六號	長官艇 (十五米)	紀伊防備隊 (大阪警備府)	臨時 附屬	横須賀海軍工廠保管中ノ十五米内火艇一隻 M五三一

官房第三八六四號
大東亞戰爭ニ於テ捕獲セル船艇ヲ雜役船ニ編入シ其ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム
昭和十七年六月二十三日
海軍大臣

公稱番號	船種	所屬	定數	記事
第一四七號	曳船兼交通船 (三百三十六艘)	舞鶴海軍港務部	臨時 附屬	大東亞戰爭戰利船「カルメン、モラー」
第一四八號	同 (二百六十八艘)	同	同	「レディ、モラー」
第一四九號	同 (四百四十六艘)	舞鶴防備隊	同	「イストラス、ヴィイサラス」

○通牒

海軍公報 (部内限) 第四百二百二十四號 昭和十七年六月二十四日

六七七

0454

兵備三機密第一八八號

昭和十七年六月二十四日

海軍省兵備局長

關係各廳長殿

秘密圖書改正紙還納ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ客年軍務二機密第五四九號ニヨリ訂正照會濟次第速ニ之ヲ所管軍需部ニ還納ノコトニ定メラレアル處還納遲延ノ向モ有之當該訂正紙ニ還納スベキ旨記載ナキモノト雖モ訂正照會濟次第速ニ還納セシメラレ度

(參照)

軍務二機密第五四九號

昭和十五年六月十九日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

秘密圖書改正紙取扱ニ關スル件申進

首題改正紙ノ一部ハ照合用トシテ各廳ニ保存シ置クベキ筈ノ處取扱ノ粗漏ニ依リ亡失スルモ氣付カズ秘密圖書還納ノ際事故ヲ發見セル事例尠カラズ又誤リテ燒却セリトノ報告アルモ事故發見期日ト燒却期日トノ間ニ

間隔アリテ確實ニ燒却セリト斷定シ得ザル場合多ク機密保持上遺憾ノ點尠カラザルヲ以テ自今改正紙ハ訂正後照會濟次第速ニ之ヲ所管鎮守府文庫ニ還納(遠隔ノ地ニ在リテ還納困難ノ向ハ機ヲ得次第)スルコトトシ右改正紙ノ還納領收ニ際シテハ證票ヲ發シ受拂簿ニ記註ノ上之ガ保管出納ヲ明確ニスル等機密保持上遺憾ナキ様特ニ留意相成度
追テ各廳ニ於テ現在保管中ノ照合用改正紙ハ此ノ際所管鎮守府文庫ニ還納相成様致度

艦本機密兵電第五七〇號

昭和十七年六月二十三日

海軍艦政本部總務部長

關係各廳長殿

電路兵器受入ニ關スル件照會(各長主管)

六月三日艦本機密兵電第四九七號通知(部内限公報參照)首題ノ件ハ左記ノ通り知相成度

記

一「裝備シタル物品中電路器具」トハ兵裝工事ノ際工作廳又ハ民間建造所ニテ備裝費ヲ以テ製造裝備シタル電路器具ヲ謂ヒ軍需部ヨリ供給ノ上裝備セル電

路兵器ハ之ニ含マザルモノトス
 二 本件ハ主トシテ事務簡單化ヲ圖ル爲明治四十一年
 一月二十一日達第七號(會計法規類集四卷一九三頁
 參照)ニ依ル電路ノ附着拔トシ特ニ單獨兵器トシテ
 ノ受入整理ヲ省略セラレタルモノニ付修理其ノ他ニ
 關シテハ從來通處理スルモノトス

○ 辭 令

杏掛 正英
 溫品 良夫
 市瀬 晴夫
 内田 友久
 大島 祐之
 村瀬 茂彦
 江橋 節郎
 篠原 頼久
 百溪 三郎
 中井 準之助
 飯塚 泰治
 志賀 嚴

石井 靜二
 河目 鍾治
 藤崎 隆弘
 水口 清
 梅田 清
 瀬戸 清
 多田 卓夫
 檜 學
 宗野 重和
 三吉 康郎
 龜井 正夫
 高松 公人
 高屋 宗雄
 工藤 尚義
 松山 信夫
 米澤 利英
 渥美 太郎
 永井 功
 瀧原 哲一
 白石 幸弘
 住江 直

海軍公報(部内限)第四百二十四號

昭和十七年六月二十四日

六七九

0456

(各通)

肥後	宇野	流石	三輪	中尾	島津	豊田	澤田	倉智	岡田	荒谷	望月	小笠原	新山	竹内	大原	時任	永田	小川	押領	西原
勇	克己	英光	薫	美久	志行	一彦	晃	敬一	浪速	直文	政司	定克	榮	絹夫	信友	直人	豊作	朗	源一	康雄

杉山	萩原	小石	杉浦	小西	土岐	山元	池森	鈴木	平形	服山	橋本	山川	池上	山野	近藤	柴橋	加藤	瀬川	三宅	古城
雄藏	晃	哲夫	守邦	輝三	進	七次	勇次郎	一男	義人	敏雄	文雄	敬止	二郎	純夫	叡三	一雄	正	良二	弘	力

0457

阿部 逸夫
上村 等
小林 尙
明石 茂彦
岡崎 正太郎
中野 政男
高橋 直人
池田 和雄
大塚 雄一
阿部 正和
浦田 卓
水上 四郎
阿部 俊明
栗田 岩雄
鈴木 國彦
村上 幸俊
松永 嵩
杉本 精二
村木 鐘三
佐藤 五美
佐々木 光雄

海軍軍醫學生ヲ命ス

(各通)

海軍藥劑學生ヲ命ス

小原 勇
樋口 友幸
中島 利男
原 雄三
鳥山 新一
佐藤 康郎
玉虫 隆雄
井出 勝彦
丸山 正吉
北田 武三
中島 徳保
寺村 義之進
新庄 得甫
三宅 貫一
小森 弘
池田 清
桑ヶ谷 八郎
竹村 貞義
北川 徹明

(各通)

田中	武臣
佐藤	司
杉浦	貞雄
齊藤	博業
田中	輝夫
相良	好仁
中山	敏之
橋本	武雄
上野	武雄

海軍齒科醫生徒ヲ命ス(以上^{海軍省}海軍省)

海軍少佐 望月 嘉一

昭和十七年度海軍武官任用臨時委員ヲ命ス(海軍省)

○雜款

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

普通郵便 吳郵便局氣付
航空郵便 臺北郵便局經由
第四十三海軍軍用郵便所氣付
(第三南遣艦隊司令部)

當分ノ間

千葉縣館山海軍航空隊内

新郷部隊

(元山航空隊派遣戰鬥機隊)

千歳海軍航空隊本隊

横須賀郵便局氣付 ヲ九壹 ヲ五四

千歳海軍航空隊第一派遣隊

横須賀郵便局氣付 ヲ壹〇參 ヲ五四 ヲ七八

(千歳海軍航空隊)

0459

(限 (内) 部)

海軍公報 (部内限) 第四千百二十五號

昭和十七年六月二十五日 (木)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第七九〇三號

昭和二年勅令第三百八十一號ニ依リ同十五年六月二十六日任(採)用セラレタル海軍技術科士官ハ海軍將校相當官現役期間特令第五條並ニ海軍武官服役令第三條第一項第一號ニ依リ當分ノ間服役期間ヲ延長ス

昭和十七年六月二十五日

海軍大臣

○通 牒

官房機密第七八六六號

昭和十七年六月二十四日

海軍次官

關係各廳長殿

戰時召集猶豫者調査報告ニ關スル件通牒

出師準備規程第九十八條ノ規定ニ依リ戰時召集猶豫者

ヲ調査報告スル場合ハ左記選擇標準並ニ様式ニ依ラレ度

追テ廳長(艦船及航空隊以外ノ部隊長ヲ除ク)ハ其ノ廳内ニ勤務スル者ニ該當者無キトキハ其ノ旨報告相成度

記

戰時召集猶豫者選擇標準

左ノ各號ノ一ニ該當シ戰時緊要缺クベカラザル配置ニ在リテ餘人ヲ以テ代ヘ難キ者

- 一 海軍技師及海軍技手
- 二 海軍工員規則附表第一號工員職種名番號一乃至六、八乃至三十、三十三乃至三十五及三十八ニ屬スル工員ニシテ直接該工事ニ携ハリ其ノ配置ニ在ルコト一年以上ノ者
- 三 第一號以外ノ海軍文官ニシテ必要缺クベカラザル者
- 四 海軍雇員及傭人ニシテ特殊ノ技能ヲ有シ文ハ二年以上分擔事務主任ノ職ニ在リテ特ニ必要缺クベカラ

海軍公報 (部内限) 第四千百二十五號

昭和十七年六月二十五日

六八三

0460

ザル者

五 第二號以外ノ海軍工員及傭員ニシテ特殊ノ技能ヲ有スルモノ又ハ班長、役長、組長、伍長タルモノニシテ必要缺クベカラザル者

六 海軍囑託者ニシテ一年以上分擔事務主任ノ位置ニ在リテ勤務シテ必要缺クベカラザル者

(様式添)

兵備三機密第三號ノ一四七ノ三

昭和十七年六月二十五日

海軍省 兵備局長

關係各廳長殿

艦船部隊發郵便物ノ取扱方ニ關スル件申進

戰地ニ在ル艦船部隊ヨリ海軍軍用郵便所ヲ經由セス内地又ハ外地ニ歸還スル艦船(部外商船ヲ含ム)ニ托送シタル軍事郵便物ハ自今之ヲ入港所在地ノ一般集配郵便局ニ於テ引受ケ左記ニ依リ取扱フコトト相成候條可然取計相成度

記

一 差出人ノ所屬艦船部隊ニ於テ取纏メ之ニ軍事郵便物タルコトノ證明書ヲ添付シタルモノニ限リ引受ク

ルコト

二 本件軍事郵便物ニハ引受通信日附印ヲ押捺セザルコト

書留郵便物ノ引受番號ハ艦船行動ノ祕匿措置ニ關シ使用スルモノヲ使用スルコト

三 本件軍事郵便物ハ一般郵便物ト併セ區分遞送スルコト

四 本件軍事郵便物ハ入港地所在ノ集配郵便局ノミニ差出ツルル管ニ付本件取扱ニ關スル通牒ハ海軍部隊ニ對スル軍事郵便直接交換局及艦船行動祕匿ノ措置ヲ爲ス集配郵便局等艦船ノ入港ヲ豫想セラルル地所在ノ集配郵便局ノミニ之ヲ爲スコト

○ 辭 令

吉岡 恒夫

顯川 忠治

馬 田 季

軍令部ニ於ケル調査事務囑託ヲ解ク(海軍省)

佐世保海軍經理部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

佐世保海軍經理部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上三同)

0481

<p>佐世保海軍經理部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(三三〇同)</p> <p>内務技師 高橋嘉一郎</p> <p>吳海軍建築部ニ於ケル業務ヲ囑託ス(三三五同)</p> <p>都市計畫地方委員會技師 中村 清照</p> <p>徵用中自今年額千六百五拾圓ヲ給ス</p> <p>松澤 義治</p> <p>天洋丸通信事務囑託ヲ解キ吳鎮守府ニ於ケル事務ヲ囑託ス</p> <p>但シ報酬年額貳千貳拾五圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上三三二同)</p> <p>木村 定一</p> <p>支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス</p> <p>但シ報酬年額貳千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス</p> <p>綾 尾 勉</p> <p>海南警備府ニ於ケル事務ヲ囑託ス</p> <p>但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス</p> <p>貳千參百圓</p> <p>田 部 通</p> <p>中川 兵二</p> <p>(各通) 貳千拾圓</p>	<p>澤本 利國</p> <p>千六百五拾圓</p> <p>早崎 靜一</p> <p>第二遣支艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス</p> <p>但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス</p> <p>陸軍主計少尉 江里口 肇</p> <p>第一南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額貳千六百圓ヲ給ス</p> <p>千八百貳拾圓</p> <p>志賀 桃介</p> <p>千六百五拾圓</p> <p>山川 駿雄</p> <p>(各通) 千參百圓</p> <p>足立 謙</p> <p>千六百五拾圓</p> <p>武田 正男</p> <p>第一南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス</p> <p>但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官待遇トス</p> <p>貳千六百圓</p> <p>陸軍少尉 渡邊 良美</p> <p>(各通) 參千五拾圓</p> <p>同 北條 義笑</p> <p>千貳百圓</p> <p>陸軍中尉 上原 一利</p> <p>第二南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス</p> <p>千參百圓</p> <p>大坪 明</p> <p>貳千七百七拾圓</p> <p>石原 直衛</p>
---	---

海軍公報(部内限) 第四千二百二十五號 昭和十七年六月二十五日

六八五

0462

貳千五百拾圓

千貳拾圓

(各通)

參千五百拾圓

貳千拾圓

千參百圓

貳千五百拾圓

千參百圓

第二南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官

待遇トス

貳千拾圓

千參百圓

千百參拾圓

(各通)

貳千七百七拾圓

千六百五拾圓

千四百七拾圓

千貳拾圓

第三南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官

待遇トス

黒澤 徳明

伊藤 正夫

宇佐美 占太郎

丸井 三郎

池田 義四郎

田代 虎志

近田 更一

河野 寛治

堀之内 藤三

木下 正知

高野 正次

井上 重男

眞田 春三

上山 良二

前田 重男

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

千參百圓

貳千四百貳拾圓

(各通)

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給ス

丸山 忠雄

第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

永井 秋雄

第三南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

市川 威

清瀬 一夫

第一南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

原田 幸次郎

第二南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

鈴木榮太郎
第四艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上一月同)

(各通)

海軍豫備大尉 井上 足彦

久留島 玄次

第二遣支艦隊ニ於ケル水先業務囑託ヲ解ク(四月同)

市野 欣五

第一南遣艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(四月同)

海軍豫備中尉 佐 藤 修

海軍省事務ヲ囑託シ報酬年額貳千五百四拾圓ヲ給ス(十月同)

(十月同)

井上 貫一

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(五月同)

海軍少將 松 永 壽雄

海軍省事務囑託ヲ解ク

興亞院事務官 伊藤 正義

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以上五月同)

興亞院技師 大谷 新太郎

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

中島 文男

第一南遣艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以上五月同)

北海道廳技師 三戸 卓助
海軍航空本部ニ於ケル木材材料研究業務囑託ヲ解ク(三月同)

(三月同)

(各通)

軍令部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

白井 英二
原 寛

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(以上五月同)

喜久田 廉司

陸軍少尉 荒井 武夫

(各通)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス

正八位 藤井 求馬

海南警備府ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上六月同)

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

海軍大佐 後藤 權造

(各通)

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

若林 兵滋

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

齊藤 二郎

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

坂口 千雄

海軍公報(部内限) 第四千二百二十五號 昭和十七年六月二十五日

六八七

0464

遇トス (六〇月同)

内藤 保
南西方面艦隊セラム民政部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

服部 敬

海軍航空技術廠發著機部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス (以上六〇月同)

片山 仲治郎

第二艦隊ニ於ケル水先業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス (六〇月同)

貳千貳百參拾圓

日和佐 房夫

(各通) 千四百七拾圓

須田 爲紀

千八百圓

小宮 敬三

南西方面艦隊民政部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額 (各頭書ノ通) ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

外務書記官 福井 淳

厚生技師 大島 金光

内務技師 小坂 忠一

同 梅原 達也

(各通)

農林書記官 平田 左武郎

内務技師 引野 通夫

同 渡部 彌作

大藏書記官 高橋 常道

税關鑑査官兼大藏技師 武井 好雄

厚生省防疫官 河合 宗治

地方技師 三戸 文男

厚生省防疫官 岡崎 七郎

海務院書記官 今井田 研二郎

農林事務官 森 茂雄

商工技師 岩田 友三郎

内務技師 矢賀部 狷介

營林局事務官 武藤 勝恵

外務事務官 森 治樹

營林局事務官兼農林事務官 大澤 融

海務院事務官 今井 榮文

鑛山監督局技師 大貫 和一

同 安田 三郎

南西方面艦隊司令部附ヲ命ス
第二南遣艦隊司令部附ヲ免シ南西方面艦隊司令部附ヲ命ス

<p>商工事務官 柿島 民堂</p> <p>農林事務官 濱田 正</p> <p>大藏省會社監査官 二木 泰雄</p> <p>大藏事務官兼銀行檢査官 澤田 悌</p> <p>貿易局事務官 原 亨</p> <p>外務理事官 小澤 顯夫</p> <p>副領事 高野 佐助</p> <p>土木事務官 眞木 英男</p> <p>外務省電信官 塚本 五郎</p> <p>内務技師 伊藤 美代治</p> <p>同 岩井 四郎</p> <p>同 近藤 市三郎</p> <p>厚生技師 出井 北郎</p> <p>内務技師 小林 嘉道</p> <p>同 村上 武夫</p> <p>臺灣總督府地方技師 西山 義雄</p> <p>農林技師 唐澤 進</p> <p>南西方面艦隊司令部附ヲ命ス(以上^六海軍省)</p> <p>海軍造機大尉 坂口 碌三</p> <p>海軍造機大尉 井田 鐵太郎</p> <p>(各通)</p>	<p>昭和三十七年度海軍武官任用臨時委員ヲ命ス</p> <p>海軍造機中佐伯爵 廣澤 眞吾</p> <p>海軍造機中佐 豊田 重夫</p> <p>海軍造兵少佐 和田 正三郎</p> <p>昭和三十七年度海軍武官任用臨時委員ヲ免ス(以上^三同)</p> <p>(各通)</p> <p>通信書記補 安井 正次</p> <p>岸田 梅司</p> <p>海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金拾圓ヲ贈與ス</p> <p>海軍省事務囑託ヲ解ク</p> <p>佐藤 英一</p> <p>青木 友之助</p> <p>野村 豊</p> <p>永井 和平</p> <p>成矢 正仁</p> <p>酒本 武雄</p> <p>同 渡邊 今朝雄</p> <p>海軍豫備少尉 井上 一</p> <p>通信局事務官 井上 一</p> <p>海軍省事務ヲ囑託ス</p> <p>海軍造兵大尉 深田 正雄</p>
---	--

海軍公報(部内限) 第四千二百二十五號 昭和十七年六月二十五日

六八九

0466

(各通)

川村 政雄
水上 修一

海軍航空本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス

横山 政次郎

横須賀海軍軍需部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額百五十拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

向井 敬一

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千五百六十拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス

羽根田 弥太

第四艦隊ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス

百五十拾圓

(各通) 七百五十拾圓

七百五十拾圓

海軍技術研究所ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ贈與ス(以上ニテ同)

○ 雜 款

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度

横須賀郵便局氣付 ヲ壹〇五 ヲ壹四〇
(第十二設營隊)

横須賀郵便局經由

ウ壹壹 ヲ參八氣付 山菊丸
清澄丸

ウ壹壹 ヲ壹八氣付 第一、二、三十四、三十五號哨戒艇

同 (第二聯合特陸)

同 (吳鎮第五特陸)

佐世保郵便局經由 第五軍用郵便所氣付

海軍第十一特別工作部 (第十一特別工作部)

横須賀郵便局氣付 ヲ五四(軍事郵便)
(第二十一驅潜隊)

○殘務整理
第七設營班ハ六月七日ヨリ第四海軍建築部内ニ於テ之

0467

ヲ行フ

追テ郵便物ハ左ニ依リ發送相成度

横須賀郵便局氣付(軍事郵便)

ウ五四 ウ六〇

(第四海軍建築部)

○残務整理終了

第十四掃海隊残務整理ハ六月十七日終了自後當隊宛照

會等ハ

横須賀郵便局氣付(軍事郵便)

ウ五〇 ウ四四

(第十四掃海隊残務整理員)

○事務所撤去

瑞穂残務整理事務所ハ六月二十五日撤去セリ

海軍公報(部内限) 第四千二百二十五號

昭和十七年六月二十五日

六九一

0468

様式(用紙美濃版)

(昭和十七年六月二十五日海軍公報(部内限))

昭和 年度戦時召集猶豫者調査表

(士官(豫備士官)之部)
(何鎮守府下士官、兵之部)

應

名

0469

現官(職)	召集猶豫理由	本籍地	離現役年月	役種	官等級	氏名
海軍技師	需品調査整理主任	道(府縣)市(郡)町(村)	大正八、一二	豫	機關少佐	何 某 年 月 日 生
海軍書記	戰時計畫資源調査綜合統一(在職五年二月)	同	昭和九、五	豫	兵曹長	同
海軍囑託	戰時計畫資源調査綜合統一(在職五年二月)	同	同三、五	豫	大佐	同
技生	戰時計畫係(在職三年五月)	同	同六、一一	一國	一等兵曹	同
工員、刷版員(製版)	造機部刷版工場主任	同	同九、五	豫	機關兵曹等	同
工員、製圖員(製圖)	同	同	同八、五	豫	主計兵曹等	同

附 昭和十六年官房機密第四九六〇號ハ本通牒ニ依リ自然消滅ノ義ト承知相成度

備考

一 本表ハ士官及豫備士官ニ在リテハ各別紙ニ調製之ヲ海軍大臣ニ、特務士官以下及豫備准士官以下ニ在リテハ在籍鎮守府毎ニ各別紙ニ調製シ之ヲ同鎮守府司令長官ニ報告(通報)スルモノトス

二 現官(職)名欄ハ左ノ各號ニ依リ記入スルモノトス
イ 文官ニ在リテハ海軍辭令ニ依ル官名
ロ 雇員傭人ニ在リテハ雇員傭人規則ニ依ル職名
ハ 工員ニ在リテハ海軍工員規則ニ依ル職種名

三 召集猶豫ヲ要スル理由欄ニハ應内ノ配置ヲ記入(選擇標準中在職年ノ制限アルモノハ其ノ期間ヲ併記)スルモノトス但シ選擇標準第一及第二號該當者ハ之ガ記入ヲ要セズ

海軍公報 (部内限) 第四百二十六號

海軍大臣官房

昭和十七年六月二十六日(金)

○通牒

經豫第五號ノ二三五

昭和十七年六月二十六日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

守衛長、守衛被服貸與ニ關スル件通牒

昭和十七年五月二十五日經豫第五號ノ二〇五別紙中軍需部ノ次ニ左ノ一項ヲ追加セラレ候條了知相成度

所屬廳	支 辨 科 目	備 考
施設本部	臨時軍事費、臨時軍事費、	
建築部	營繕費、作場費	

○辭令

拓務技師 正木 茂男

海南警備府附ヲ命ス(三〇四海軍省)

部内限勅任官待遇トス(三〇四同)
南西方面艦隊司令部附厚生技師兼厚生省防務官與重院技師 阿部 敏雄

鐵道屬 佐藤 七治

海軍運輸部附ヲ命ス

事務員 吉田 泉

第二十五海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

同 藤森 與司 幸

第二十五海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上三〇五同)

海軍主計特務大尉 高橋 辰治

美幌海軍航空隊殘留隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命シ置キタル處之ヲ免ス(三〇四支出官 海軍省經理局長)

海軍主計中尉 上東野 正二

第二十一特別根據地隊バタバヤ分遣隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中尉 岡田 健一
右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上六名同)

海軍主計中佐 松岡 嘉一
中華民國香港方面ニ於ケル準備購入材料物品費支拂
ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(六名同)

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

横須賀郵便局經由

ウ九〇

ウ四〇 氣付(軍事郵便)
(軍艦常磐)

○ 事務開始

第十五設營隊ハ六月十五日横須賀海軍建築部内ニ於テ
事務ヲ開始セリ

追テ郵便物ハ左ニ依リ發送相成度

神奈川県横須賀市

横須賀海軍建築部内 海軍福地部隊

(第十五設營隊)

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四千二百二十七號

海軍大臣官房

昭和十七年六月二十七日(土)

○ 通 牒

軍需機密需第二五八號

昭和十七年六月二十五日

海軍省軍需局長

關係各所轄長殿

艦管需品製氷冷蔵庫現狀調査ノ件照會

供給計畫並竝糧食補給上ノ參考ト致度ニ付現ニ供給中ノ
首題物品ニ關シ左記事項調査ノ上所屬兵備品會計官吏
ヲ經テ當局宛至急送付相成度

記

- 一 供給貸與ヲ受ケタル年月日
- 一 供給貸與ヲ受ケタル 軍需部
- 一 原動機、壓縮機ノ型式及製作所
- 一 裝備場所
- 一 裝備年月日
- 一 利用部隊名及人員數(作戰地ニ於ケルモノハ記入)

ヲ要セズ)
一 其ノ他

○ 辭 令

第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)
海軍中佐 藤田 正路

海軍公報(部内限) 第四千二百二十七號

昭和十七年六月二十七日

六九五

0472

(限 内 部)

0473

海軍公報 (部内限) 號外

○ 懲罰

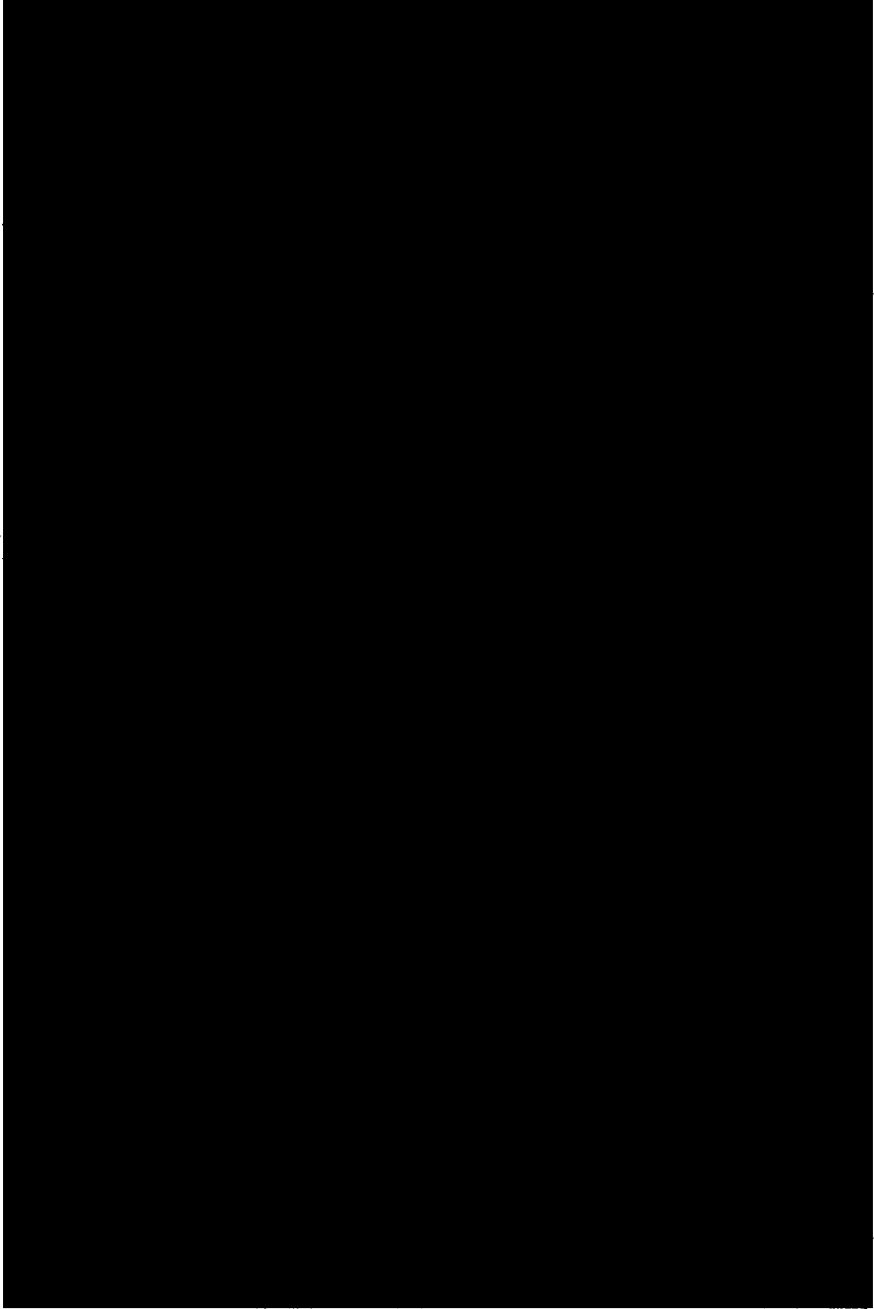
懲罰言渡書

昭和十七年六月二十七日(土)
海軍大臣官房

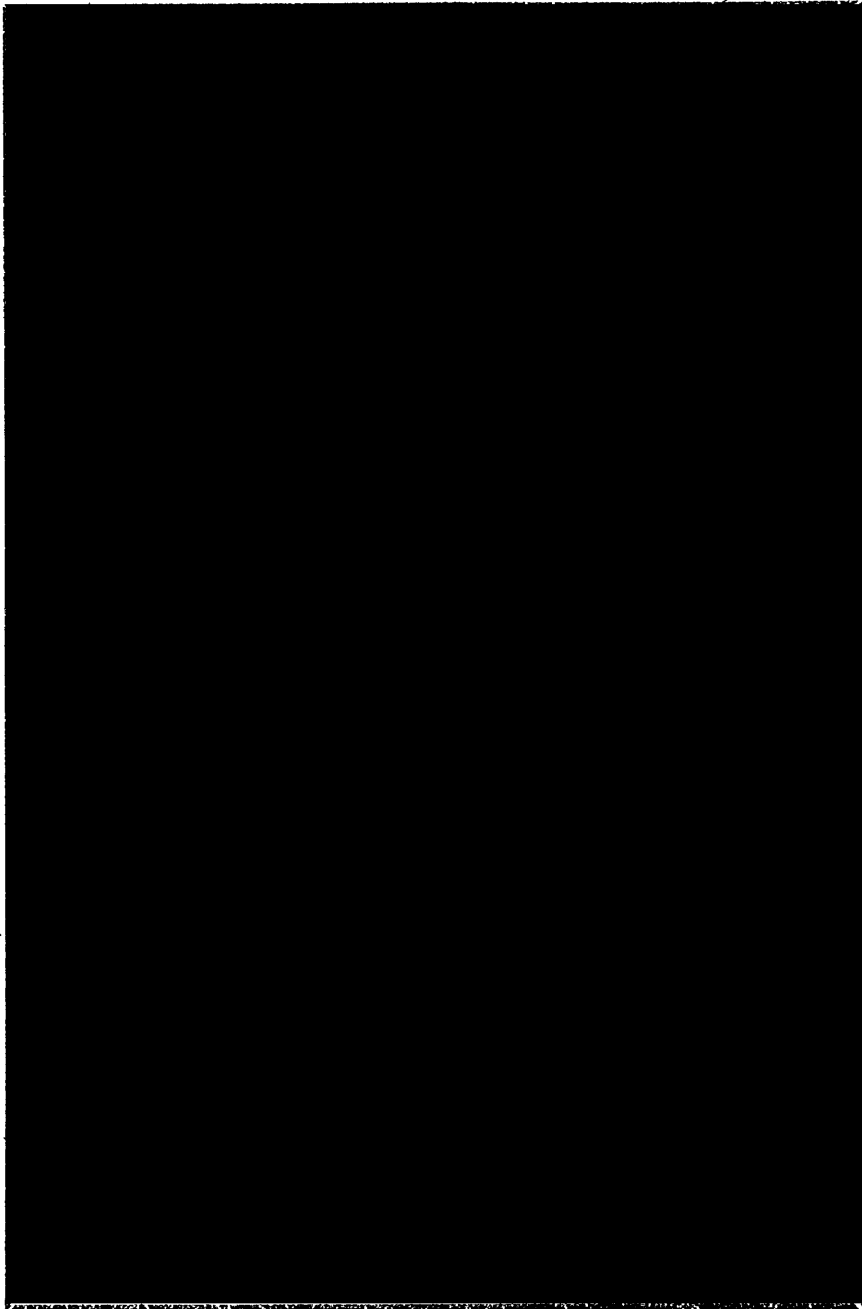
海軍公報 (部内限) 號外

0474

海軍公報 (部内限) 號外



海軍公報 (部内限) 號外



三

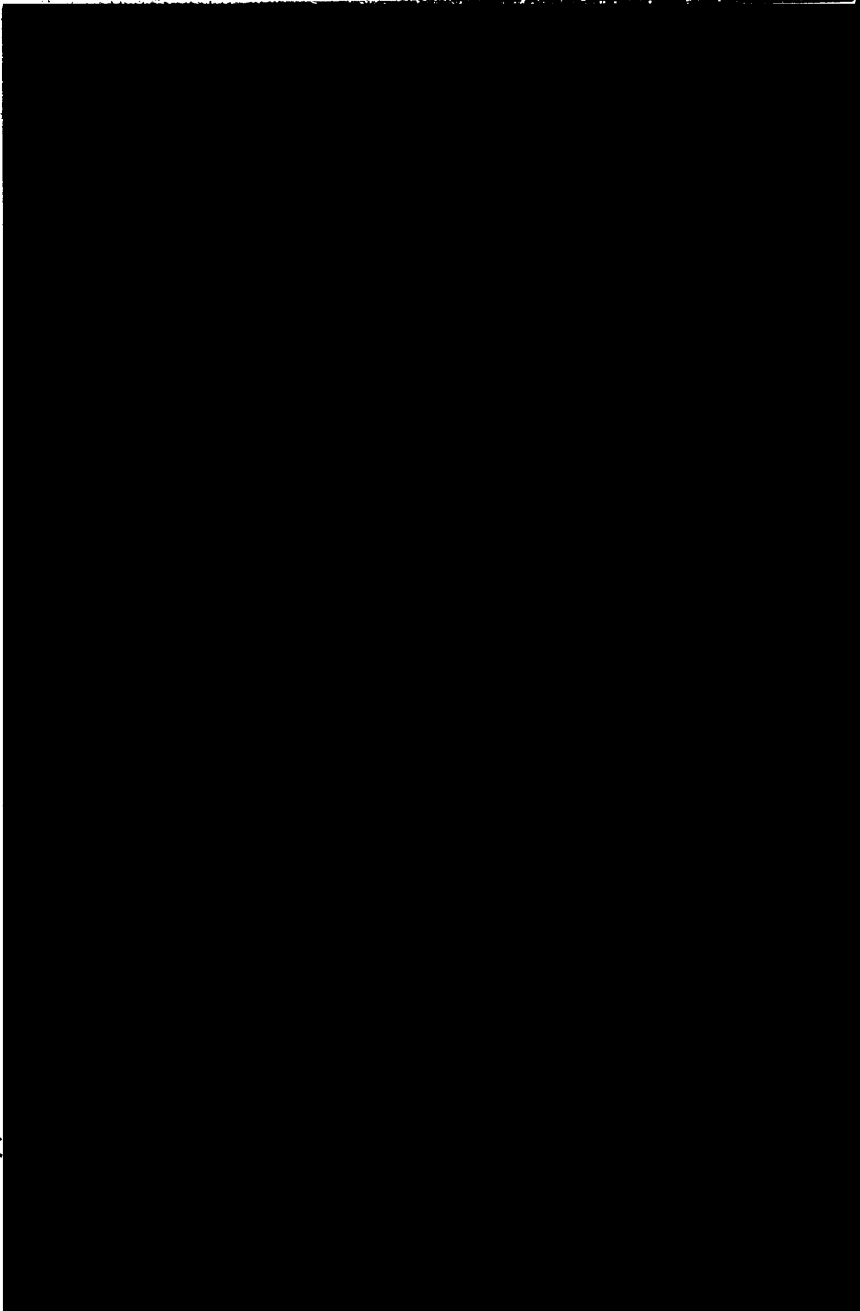
0475

海軍公報 (部内限) 號外

四

0476

海軍公報 (部内限) 號外



五

0477

海軍公報 (部内限) 號外

六

0478

0479

海軍公報
(部内限)
號外

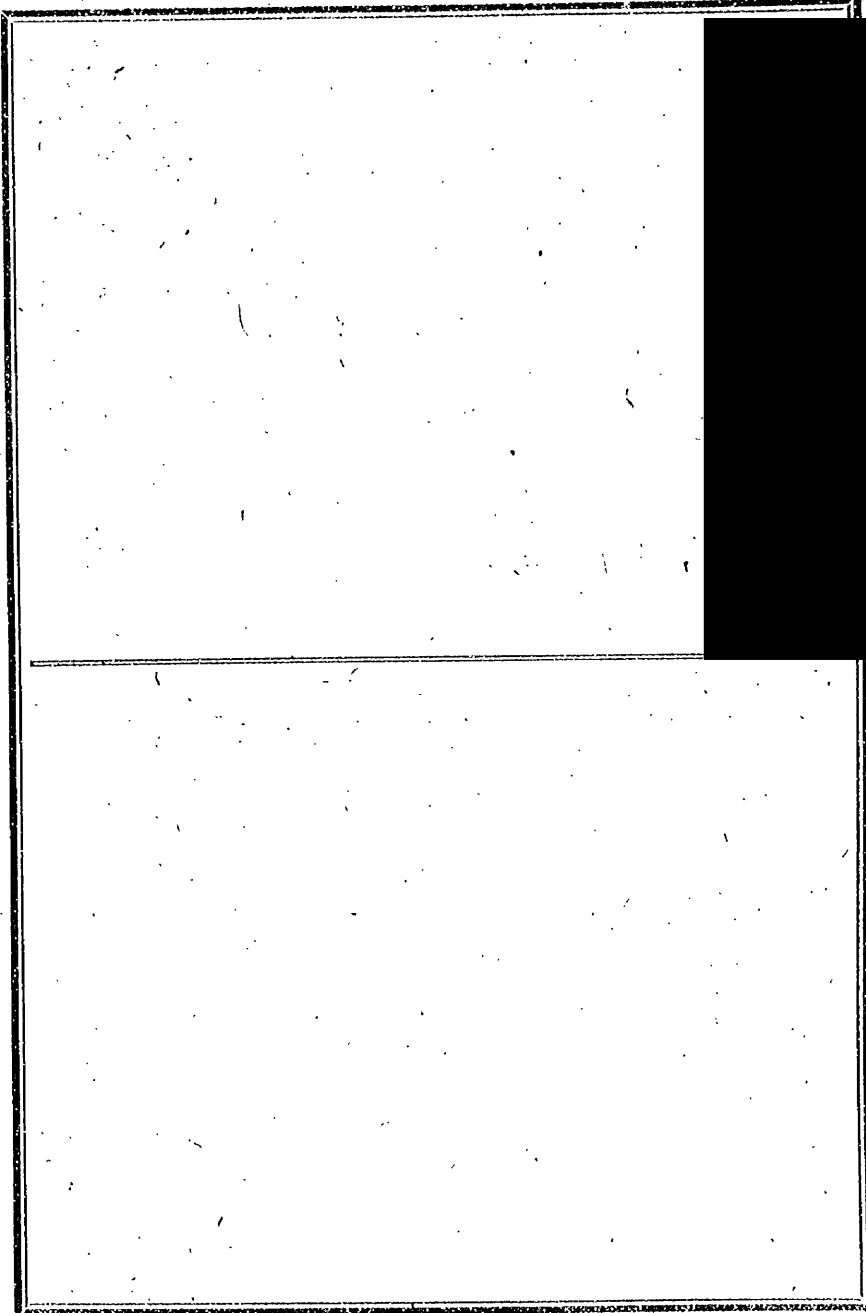
七

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

0480



海軍公報 (部内限) 號外

八

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四百二十八號

昭和十七年六月二十九日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房第三九九〇號
支那事變ニ於テ捕獲セル船舶ヲ雜役船ニ編入シ其ノ公稱番號、船種、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十七年六月二十九日

海軍大臣

公稱番號	船種	所屬	別定數	記	事
第一四〇號	曳船 (二百二十艘)	馬公海軍 軍需部	臨時 附屬	支那事變 戰利船	
第一四二號	曳船兼交通船 (百八十艘)	馬公海軍 工作部	同	同	
第一四三號	同 (百艘)	馬公海軍 港務部	同	同	

○通 牒

艦本第一號ノ六七四〇

昭和十七年六月二十七日

關係各廳長殿

海軍艦政本部長

假稱一式爆藥ノ件通知

首題爆藥ハ兵器ニ假採用セラレ艦船ニ搭載ノ上實用ノゴトニ定メラレ候
本爆藥ハ爆雷及機雷炸藥用ニシテ其ノ取扱及貯藏検査ニ關シテハ八八式爆藥ニ準ズルモノトシ其ノ略符ヲP₁ト定メラレ候

○辭 令

○郵便物發送先

自今左ニ依リ發送相成度

吳郵便局氣付 セ貳壹

(第百二海軍病院)

八月十日迄ニ到達見込ノモノハ

吳郵便局氣付 (軍事郵便)

横須賀郵便局氣付 (同)

(特設病院船氷川丸)

其ノ後ハ

海軍公報 (部内限) 第四百二十八號 昭和十七年六月二十九日

六九七

0481

0482

部)

(限



海軍公報 (部内限) 號外

○ 令 達

昭和十七年六月二十九日 (月)

海軍大臣官房

官房機密第七九八二號 昭和十八年六月二十九日 官房第五〇號

大東亞戰爭中海軍軍需部長ハ別記艦營需品ノ供給ニ關シテハ艦營需品定額表又ハ艦營需品制式圖ニ拘ラズ附記ノ通處理スベシ

昭和十七年六月二十六日

海軍大臣

供給停止品			記 事
主管別	區分	品名	
航備	品	先任	在庫品限リ供給
航備	品	長	
航備	品	軍艦	
			旗一巾
			旗九、二米
			旗八、巾

海軍公報 (部内限) 號外

0483

砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	航
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備
品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品
蹴	ベ	野	フ	野	グ	一	捕	電	手	溶	同	手	軍
球	ー	球	ロ	球	ロ	壘	手	池	提	液	覆	斧	艦
外	ス	用	テ	用	ー	手	用	乙	電	瓶			旗
袋		ネ	ケ	マ	ブ	用	ミ	乙	燈	大			十
		ツ	タ	ス	ツ	ミ	ツ						巾
		ト	ー	ク		ツ							
									在庫品限り供給				
									在庫品限り供給				
									爾後本品ノ代リニ機關長主管携帶電灯ヲ供給				

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報 (部内限) 號外

運備品	運備品	運備品	運備品	運備品	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲	砲
梯子	消火器	塗具	吸水器	甲板洗桶	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	備用品
子(鐵製)	甲大 小	罐大 小	水器	桶甲	乾電池乙	彈着時計用石筆	充電用撮金	蹴球内袋	同軟球	野球用硬球	バット	電球二號	スキ	一帽
在庫品限リ陸上部隊ニ供給					在庫品限リ供給									

三

0484

運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運	運		
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備		
品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品		
烙	空氣充填唧筒	蛇管接手乙 <small>大、中、小、特小</small>	漉器乙 <small>大、中、小</small>	筒先乙 <small>大、中、小、特小</small>	振鈴	時鐘大	四爪錨用鎖	煙草盆敷物	點燈具囊	釣床括帶	防水蓆履	高張提燈	注入唧筒	靴洗器		
在庫品限リ供給											要スル向ニ貸與		特設艦船部隊以外ニ供給		在庫品限リ供給	

0485

機	機	機	機	機	機	機	機	運	運	運	運	運	運	
備	備	備	備	備	備	備	備	消	消	消	消	消	消	
品	品	品	品	品	品	品	品	耗	耗	耗	耗	耗	耗	
扛	据	床	木	銅	大	鐵	漏	長	破	炭	四	液	ゴ	
重	付	萬	鏈	鏈	鏈	手	斗	席	壊	酸	鹽	化	ム	
機	萬	力	鏈	(一	鏈	桶	中		式	ア	化	炭	第	
甲	力	甲		疋)		大			消	ン	炭	酸		
	小					小			火	モ	素	ガ		
									劑	ニ	液	ス		
									二	一				
									號	號				
	在	在	在											
	庫	庫	庫											
	品	品	品											
	ハ	ハ	限											
	据	平	リ											
	付	行	供											
	萬	力	給											
	力	乙												
	大	小												
	ト	シ												
	シ	テ												
	供													
	給													

機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備
品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品	品
寒	白	タ	煖	火	煖	火	石	補	石	一	計	角	削	招
暖	麻	ー			爐		炭	機	炭	號	器		刀	合
計	索	ル	爐	挾	用	棒	入	械	袋	携	燈	燈	(盤
乙	大、小	麻	甲	甲	十	甲	甲	覆		帶	(四		鎗	
		索			能					電	角		形)	
			在	在	在		在			燈				
			庫	庫	庫		庫			二				
			品	品	品		品			號				
			ハ	ハ	ハ		限			携				
			煖	火	煖		リ			帶				
			爐	挾	爐		供			電				
			乙	乙	用		給			灯				
			ト	ト	十					ト				
			シ	シ	能					シ				
			テ	テ	乙					テ				
			供	供	ト					供				
			給	給	シ					給				

0487

0488

海軍公報 (部内限) 號外

機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機
備品	備品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	備品	備品	備品
寒	ミシン二重縫	再生劑	食鹽	鋸屑	ベルビルセメント	夕イヤ乙	側硝子	保護亞鉛板	眞鍮針金	流動パラフィン	液體採取器	火焚眼鏡	石炭樹乙
計		在庫品限リ供給											

七

0489

工(木)	備品	木	榧	
工(木)	備品	八角	錐	
工(金)	消耗品	鹽化アンモニア		
工(金)	消耗品	鋼粉		
工(金)	消耗品	亞鉛板		
工(金)	備品	鍍金裝置乙		在庫品限リ供給
工(金)	備品	螺切型計器用		
工(金)	備品	文字刻印(六種ノモノ)		
工(金)	備品	同		在庫品ハ火搔乙中トシテ供給
工(金)	備品	火搔		在庫品ハ火搔甲中トシテ供給
工(金)	備品	十能		在庫品ハ十能中トシテ供給
工(金)	備品	割指乙		
工(金)	備品	銅工		在庫品限リ供給
工(金)	備品	鉸		

海軍公報(部内限)號外

八

工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)	工(木)
消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	備品	備品	備品	備品	備品	備品	備品
工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工
ソ	槍	櫻	ソ	糸	眞	眞	打	透	直	直	丸	鉋	弦	篋
松			松		鋸	鋸	綿	寫	尺	角	砥		掛	
板	板	板	角	鋸	鋸	鋸	綿	布	尺	角	砥		鋸	
巳 甲 乙 辛 壬 癸	戊 丙 丁		丙 甲 乙				乙 甲		甲					(大形ノモノ)

在庫品限リ供給

主	主	主	主	主	主	主	主	主	主	主	主	工(木)	工(木)
備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	備	消耗品	消耗品
桿	火	肉	洗	桶	攪	火	火	十	洋	朱	理	木	櫺
	酒	掛	米		粉						髮	理	
秤	兩	鈎	器	大、小	器	鎌	搔	能	鍋	硯	椅子	塗	板
									最			具	甲
									小			甲	乙
						在庫品ハ材料品ニ組替			在庫品限リ供給				

一〇

0491

主	主	主	主	主	主	主	主	主	主	主	主	主	主
貸與品	貸與品	貸與品	貸與品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	消耗品	備品	備品	備品
陸戰隊用烹炊要具	菓子皿	接待用特種洋食器	貯水罐	封鉛	法令全書	電信回線圖	大根突	烏ノ子狀袋 中、小	吸墨紙 臺	朱墨	同	秤 五〇〇觔	同
(各部品ノ部ニ於テ貸與)	在庫品限リ貸與	戰爭中貸與ヲ停止	在庫品限リ貸與										在庫品限リ供給

0492

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 第四百二十九號

昭和十七年六月三十日 (火)
海軍大臣官房

○令 達

官房機密第二八二二號ノ二
昭和十七年官房機密第二八二二號中左ノ通改正ス
昭和十七年六月三十日
海軍大臣

第一項ヲ第一號トシ第二號トシテ左ノ一號ヲ加フ
二 北海道又ハ樺太ニ在ル氣象隊

附 則

本令ハ昭和十七年五月十五日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(参照) 昭和十七年官房機密第二八二二號ハ戰地ニ在ラザルモ特別ノ命令ニ依リ對敵行動ヲ取ル部隊ノ指定ノ件ナリ (昭和十七年三月七日部内限公報)

官房第四〇〇四號

當分ノ間海軍戰時給與規則第九條第二項、第三項及海軍工員臨時給與規則第四條第二項ノ規定ニ依リ支給スル手當金ハ上申ヲ要セズ所轄長特ニ必要ト認メタル場合ニ限り之ヲ支給スルコトヲ得但シ文官及工員以外ノ

軍屬ニ支給スル金額ハ別表ニ依ル
所轄長前項ノ規定ニ依リ手當金ヲ支給シタルトキハ受給者ノ官職氏名及支給金額ヲ海軍大臣ニ報告スベシ
昭和十七年六月三十日
海軍大臣

(別表)

手 當 金		備 考
區 分	金 額	
勅任待遇者	四 百 圓	一、一時往復者ノ手當金ハ本表金額ノ半額トス 二、本表中待遇者トハ囑託者ニシテ本官ヲ有セザル者ヲ謂フ
奏任待遇者	貳 百 參 拾 圓	
判任待遇者	百 貳 拾 圓	
雇員、傭人	月給一月又ハ日給三十日分 但シ月給又ハ日給三十日分ニシテ百圓ヲ超ユルモノハ百圓トス	

海軍公報 (部内限) 第四百二十九號 昭和十七年六月三十日

六九九

0493

○ 辭 令

(各通) 九拾圓 土屋 守人
八拾五圓 矢島 武夫

海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス
但シ報酬月額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限判任官
ヲ以テ待遇セラル

第二課附ヲ命ス(四月 海軍運輸部) 大森 潤一

海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託シ報酬月額四拾六圓
ヲ給ス

第二課附ヲ命ス(四月 同) 荒尾 偕一

海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬月額五拾圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ待
遇セラル

第二課附ヲ命ス(四月 同) 松本 一郎

京城在勤海軍武官海軍大佐 原田 健四郎

京城監理長ヲ命ス
海軍艦政本部造船監督官兼
造兵監督官海軍航空本部造
兵監督官海軍機關大佐

廣島監理官ヲ命ス
廣島監査官ヲ命ス(以上 六月 海軍省)

○ 雜 款

○司令艇變更
第四十二掃海隊司令ハ六月二十五日司令艇ヲ第七利丸
ニ變更セリ

○郵便物發送先
自今左ニ依リ發送相成度
臺灣高雄洲 高雄海軍航空隊氣付
新竹海軍航空隊

(新竹海軍航空隊)

○移轉
三重海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ハ六月二十二
日三重縣一志郡香良洲町ニ移轉セリ

○殘務整理
第三特別根據地隊殘務整理ハ第四十三警備隊ニ於テ行
フ
(第四十三警備隊)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十七年六月三十日 (火)
海軍大臣官房

○ 通 牒

人祕第五號ノ五

昭和十七年六月三十日

關係各廳長殿

海軍省 人事局長

功績調査票調製ニ關スル件照會

大東亞戰役功績調査用トシテ昭和十五年四月二十九日以降海軍ニ勤務シタル軍人^{候補生、見習尉官ヲ含ム}豫備員、文官、囑託、雇員、傭人、工(鑛)員、船員、徵用員、日本赤十字救護員、官役人夫及部外者總員ニ對シ左記ニ依リ功績調査票ヲ調製シ別紙書例ニ依ル名簿ヲ添附ノ上特務士官以下ノ軍人ニ在リテハ在籍鎮守府ノ海軍人事部經由其ノ他ニ在リテハ直接昭和十七年十一月末日迄ニ海軍省人事局ニ到達スル様送付相成度
追テ 一 今次所要ノ調査票用紙ハ當方ヨリ配付可致候

二 昭和十五年人祕第四號ノ二下五十音別名簿調製ニ關スル件ハ之ヲ廢止致候

記

海軍公報 (部内限) 號外

一、調製區分

- (一) 昭和十七年九月一日現在ニテ本人ノ屬スル應ニ於テ調製ス
 - (二) 軍人ニシテ 自昭和十五年四月二十九日 至昭和十七年九月一日 間ニ 死歿、免役、現役満期、服役延期解止、召集解除者等ニシテ海軍ノ勤務ヲ離レタル者ニ對シテハ士官ニ在リテハ海軍省人事局、特務士官以下ニ在リテハ所管海軍人事部ニ於テ調製ス
 - (三) 軍人以外 (部外者) ニシテ 自昭和十五年四月二十九日 至昭和十七年九月一日 間ニ 退官、退職、死歿、解雇等ニ依リ海軍ノ勤務ヲ離レタル者ニ對シテハ海軍關係ノ最後ノ勤務應ニ於テ調製ス
 - (四) 九月一日以前ニ發令セラレ調製期日當日轉勤ノタメ旅行中ノ者ニ對シテハ新所轄ニ於テ調製スルモノトス
 - (五) 調製期日以降新ニ海軍ノ勤務ニ就キタル者アリタルトキハ其ノ都度調製送付スルモノトス (調査票用紙ハ各軍需部ヨリ受入ノコト)
- 二、調製通數竝ニ保管應
- 各人一通宛調製スルモノトシ海軍省人事局 (武功調査) ニ於テ保管ス
- 三、記註區分及記註要領 (別紙記註例參照)

記註要領	項目
------	----

<p>所管 海軍省人事局 (武功調査)</p>	<p>調査票表面第二段 右以外全部</p>	<p>特務士官以下ノ軍人ノミ</p>
<p>調製期日ニ於ケル各應</p>	<p>(一) 調査票表面第一段中 氏名、本籍、生年月日、死亡年月日(死亡者)、入籍番號(下士官兵ノミ)</p> <p>(二) 調査票表面第二段中 所轄、期間、記事及官職欄</p>	<p>記註例參照(以下同ジ)</p> <p>自昭和十五年四月二十九日 至昭和十七年九月一日 ノ間ニ於テ勤務應ガ海軍關係以外 ナリシ者ノミニ限リ記入スルモノトシ 所轄欄ニ右勤務應(父ハ所屬)名ヲ記事欄ニ給額ヲ記註ス</p>

(備考)

- (一) 軍人ノ官職ハ海軍部内人事通報略語表ニヨリ記載スルコト
 - (二) 位階、功級、勳等欄ハ該當欄ニ等級ヲ略記スルコト
- 四、本調査票ハ功績調査ニ際シ基本トナルベキモノナルノミナラズ各種錯誤ノ防止上缺クベカラザルモノナルヲ以テ海軍ノ勤務ヲ離レタル者ニ對スル他省關係勤務ノ有無ヲモ調査記註スルト共ニ特ニ記註漏字劃ノ誤等ナキ様正確ヲ期スルモノトス

(別紙二葉添)

別紙書例 (用紙美濃野紙半葉)

年 月 日

(昭和十七年六月三十日海軍公報 (部内限) 號外)

海軍省人事局長殿
(、海軍人事部長殿)

功績調査票送付名簿

所 轄 長 名 圖

0498

			(官職分)	氏 名	(電報符 入籍番號)		(官職分)	氏 名	(電報符 入籍番號)
	大尉	松木定男			4268				
	一曹	平林 勇							
		志水 6896							
雇員	上村浩二								

備考

一、軍人

(一) 士官、特務士官准士官、下士官兵毎ニ別紙トス

(二) 豫備員モ右ニ準ジ別紙トス

二、軍人以外

各身分別ニ別紙トス

別紙(表)

(昭和十七年六月三十日海軍公報(部内限)號外)

番號				
氏名	本籍		入籍番號	
現	井上太郎	福岡縣戸畑市大字戸畑5562番地	佐	志 12345
舊	伊口太郎	福岡縣戸畑市新池町一丁目239番地		徵 54321
生年月日	明治39年2月6日生	死亡年月日	昭和17年3月2日死亡	

0499

所轄	期間	記事	官(職) (身分)	任命 年月日	位階 正 從	功 級	勳 等 旭 瑞	授與年月日 勳功記番號	定例 戰功別
小倉陸軍工廠 第三製造所	15-4-29 17-1-10	(月85.00)	工員	- -			八	9-10-15 (1,040,00)	定例
佐 團	17-1-15 17-1-20		一曹	昭9-5-1			七	15-4-29 < >	戰功
軍艦〇〇	17-1-20 - -			- -				< >	
	- -			- -				< >	
	- -			- -				< >	

別紙(裏)

所轄	期間	記事	官(職) (身分)	任命 年月日	所轄	期間	記事	官(職) (身分)	任命 年月日
	- -			- -		- -			- -
	- -			- -		- -			- -
	- -			- -		- -			- -
	- -			- -		- -			- -
	- -			- -		- -			- -

上奏原簿	從軍記章 授與名簿	記念章 授與名簿	行賞通報	官職	賞格 奏功官等	敘賜	敘勳發令年月日 勳功記番號	記事
第 同	其	其						
第 頁	頁	頁						
第 同	其	其						
第 頁	頁	頁						
第 同	其	其						
第 頁	頁	頁						